



# 学校だより

令和7年1月7日(火)  
第854号  
さいたま市立日進小学校  
TEL: 663-6942

## 新年を迎えて

校長 野上 正嗣

謹んで、新年の御挨拶を申し上げます。保護者や地域の皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのことと存じます。私は今年も本校の子どもたちが参加する「日進餅つき踊り」の奉納を見学しました。日進神社境内で無事に新しい年を迎えられたことに感謝するとともに、2025年も、子どもたちの健やかな成長と地域に根ざした信頼される学校づくりに努力してまいります。昨年同様、本年も御支援と御協力をお願いいたします。

さて、年末年始は箱根駅伝をはじめサッカーやバスケット、ラグビーやアメフトなど高校生、大学生、社会人による様々なスポーツイベントが開催され、選手たちの熱い戦いはテレビからでも十分伝わり多くの感動をもらいました。晴れの舞台で全力疾走し真剣勝負をする選手の姿、勝利に大喜びする姿や負けて悔し涙を流す姿、試合後敵味方関係なく、健闘をたたえ合う姿。どの場面を見ても清々しいものを感じました。おそらくその裏には、人知れずの人間ドラマがあるのだと思います。その一方で、レギュラーを支える控えの選手や応援団、家族やマネージャーなどそれに携わる数多くの方々にあるドラマへも思いを馳せながら見ると感慨深いものがありました。

一つの目標に向かって複数の人間が取り組めば、時には意見のぶつかり合いによって感情的になったり悩んだりすることがあります。練習がきつく苦しい思いをすることもあります。こうした苦難や葛藤に打ち勝ち、克服した先に人を感動させるものが生まれるのだらうと思います。また、困難を共に乗り越えることで私たちは成長し、絆が深まりチームとしての一体感が生まれ、個々の力が結集されていきます。これはスポーツだけでなく、勉強や友だち関係など学校生活の様々な場面に置き換えることができます。子どもたちが努力の結果として得られる成果だけでなく、目の前の課題を乗り越える過程も重要であることに気付き、諦めず一生懸命頑張ろうとする気持ちをより一層育んでまいります。

今日から53日間(6年生は51日間)の3学期が始まりました。この期間は「一月往ぬる 二月逃げる 三月去る」と言われるように行事が多く、あっという間に過ぎてしまいます。次の学年への進級に向け、現在の学年で学んだ様々なことを振り返りしっかりと身に付けることができるよう、子どもたちには一日一日を大切に過ごしてほしいと思います。

また3学期は、次年度の教育活動の作成時期となります。今年度の成果と反省をもとに皆様からいただいた学校評価アンケートの結果を踏まえ、令和7年度の教育活動が充実したものになるよう、全教職員でよりよい学校をつくってまいります。